

AI（人工知能）の進化が凄いことになっています。昨今、様々なところで「AI」という言葉を耳にしたり、目にするが多くなっています。先日も、国際情勢に関する記事が目にとまりました。そこには、軍事作戦の策定から目標の抽出にいたるまで、その大半にAIが活用されているという実態が報じられていました。また別のニュースでは、あまりに高度すぎる能力を持ったAIソフトの公開が中止され、政府要人や金融界のトップがその対応に追われているともいわれています。私たち一般の感覚からすると、まさに「一体何が起こっているのだろう」という感じです。確かに、現在のAIは非常に便利です。これまで膨大な時間と人手を要していた画像や音声、文章の作成、データ分析などが、今や一瞬で、しかも簡単にできるようになりました。しかしその反面、本物と見分けがつかない「フェイク（偽）」の画像や映像、音声が悪用されるケースも増えているようです。

「AIの暴走」といえば、多くの映画で描かれてきたテーマです。『ミッシェン…インボッシブル』や『ターミネーター2』、そしてその原点である名作『2001年宇宙の旅』。これらを観たときは、あくまで遠い未来のフィクションとして楽しんでいましたが、現代の技術は、映画で描かれた世界に確実に近づいているように感じます。

これからの時代、私たちはニュースやネット上の情報をただ鵜呑みにするのではなく、「これは本当に本物だろうか」と一度立ち止まって見極める目を持つことが不可欠になります。電話やウェブ画面の向こうの相手が、本当に本人かどうかを確かめなければならない日も、そう遠くはないかもしれません。

——最後に一つ。このコラム、本当に私が書いたものだと思いますか？